

情報化の現状（個人、家庭）

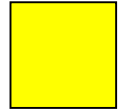
（情報と社会 第2回）

URL <http://homepage3.nifty.com/suetsuguf/>

Email fwhy6454@mb.infoweb.ne.jp

作成者 末次文雄 ©

復習： 当科目を学ぶ目的



インターネットを代表とする**情報技術**の発展により高度な情報化社会が始まろうとしています。

第一に、情報技術によりどのように社会が変わるのかを理解すること。

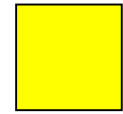
第二に、あふれる情報をいかにして自分に役立てるかその方法を身につける。

第三に、望ましい暮らしやすい情報化社会とはどういう社会なのかを、
自分自身で考える力を養うことにあります。

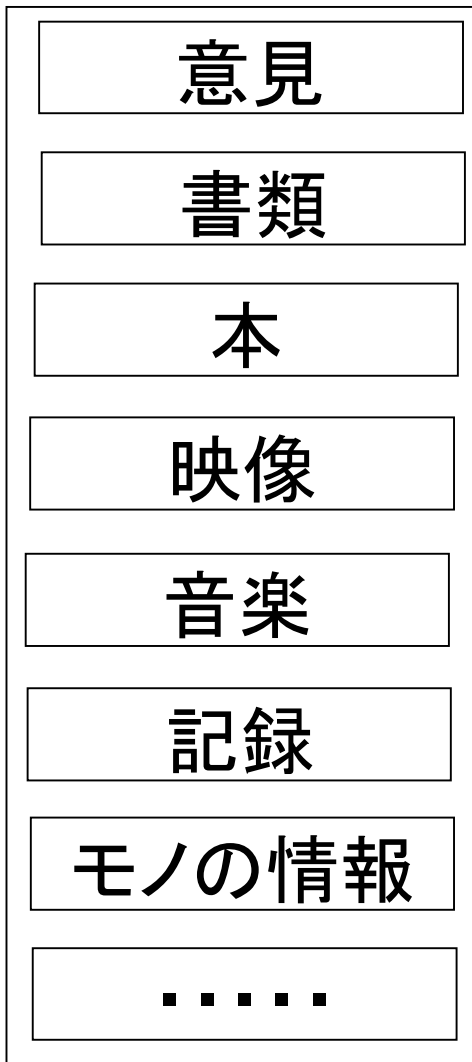
情報技術(IT=アイティ=Information Technology)とは、

- ・コンピュータと通信を有効に使って、
- ・情報を作成、処理、分析、表示、蓄積したり、伝える技術である。

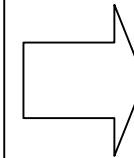
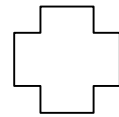
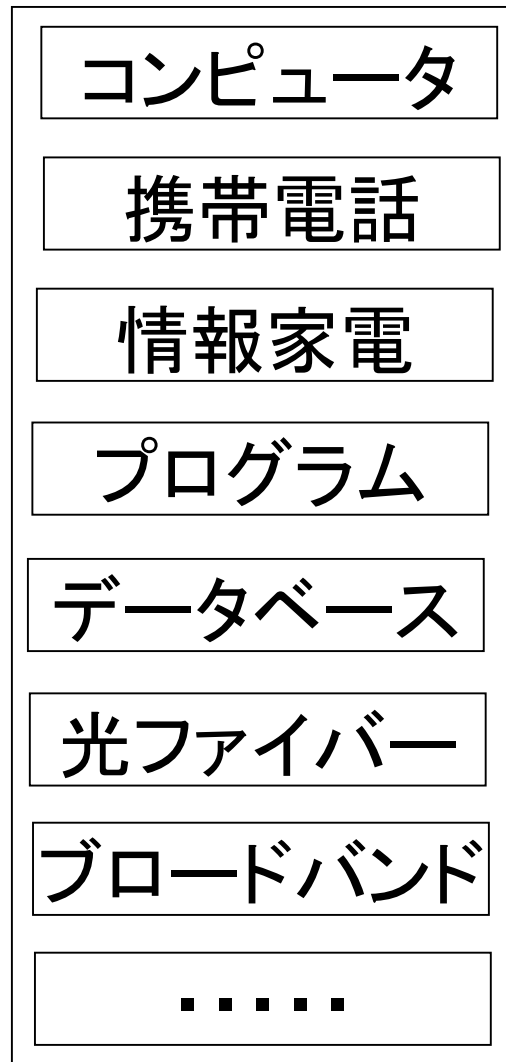
参考：情報化社会の要素



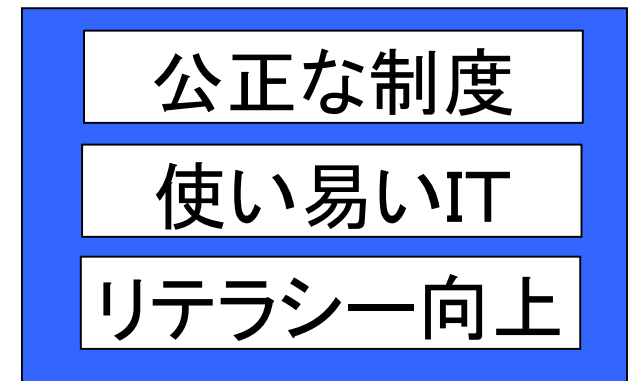
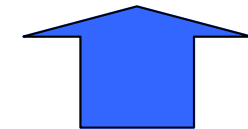
情報



情報技術



改革

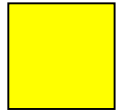




復習：なぜ**情報技術**を身につける必要があるのか
（つまり、なぜコンピュータが使えるように
ならなければならないのか？）

（例示） 以下ができるとできないとでは大きな差が出る。

- ・思考の道具（情報収集、考えまとめ、文書作成、発表・・・）
- ・作業の能率が上がる（集計、並び替え、グラフ作成、写真配布、宛名書き・・・）
- ・コミュニケーションが進む（メール、電子会議、掲示板、オンラインアルバム・・・）
- ・個人が情報発信ができる（ホームページ、ブログ・・・）
- ・創造的な作品を作る道具（デザイン、ポスター、CG、アニメ、音楽、小説・・・）
- ・活躍の場が広がる（女性の起業、社会貢献・ボランティア、NPO活動・・・）
- ・ビジネスチャンスが広がる（ネット商店、SE、プログラマ、SOHO、HP制作・・・）
- ・安く作ることができる（年賀状印刷、名刺印刷、案内状印刷・・・）
- ・便利な手段が使えない（住民登録、パスポート申請、納税申告、電子入札、オンラインショッピング、ネットオークション・・・）



復習:なぜ情報技術の**仕組み**を知る必要があるのか

従来の製品であれば、原理を知らなくても使いこなせたが

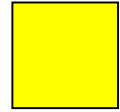
(テレビ、電話、オーディオ、洗濯機、冷蔵庫、クルマ・・・)

知らないと使いこなせない。

(理由)

- ・ネットワークにつながるパソコンは、いろいろな用途に使える。
(プログラムを取り替えたり、作れば、用途を際限なく拡張できる)
(何に使えるかを考えるには、何ができるか、その可能性を知る必要がある)
- ・自分が**被害者**になる恐れがあり、予防策を講じる必要がある。
(ウィルス、個人情報流出、盗聴などに対抗するには、仕組みを知ること)
- ・自分が**加害者**になる恐れがあり、使用上のルールを守る必要がある。
(ウィルス流布、個人情報の保護、著作権の侵害、ネチケットの遵守)
- ・パソコンの用途が広がれば、障害発生時に、自力で直す力が必要。
(たまに故障するが、スグに直せなければ仕事が止まる)
- ・ITを使えば社会がどんなに良くなるかを考え、提案できるようになる。

復習：素養（リテラシ）



従来のリテラシ（素養）

- ・読み、書き、そろばん、話す、教養

情報技術リテラシ（ITリテラシ）

＜狭義＞コンピュータを操作できる

- ＜広義＞
- ・情報ネットワークを活用して、
 - ・必要な情報を収集・整理・加工・分析し、
 - ・本質をつかんで情報を発信できる能力。
 - ・ITを技術として管理、評価できる能力。

仕事のリテラシ

- ・一時には、一つのことに集中する
- ・立場を変えて考えてみる力（相手、お客）
- ・考えを紙に書いて整理する
- ・人との協調、チームメンバーシップ
- ・問題解決能力（問題点→原因究明→解決策）
- ・目標達成能力（目的→手段の連鎖発想）

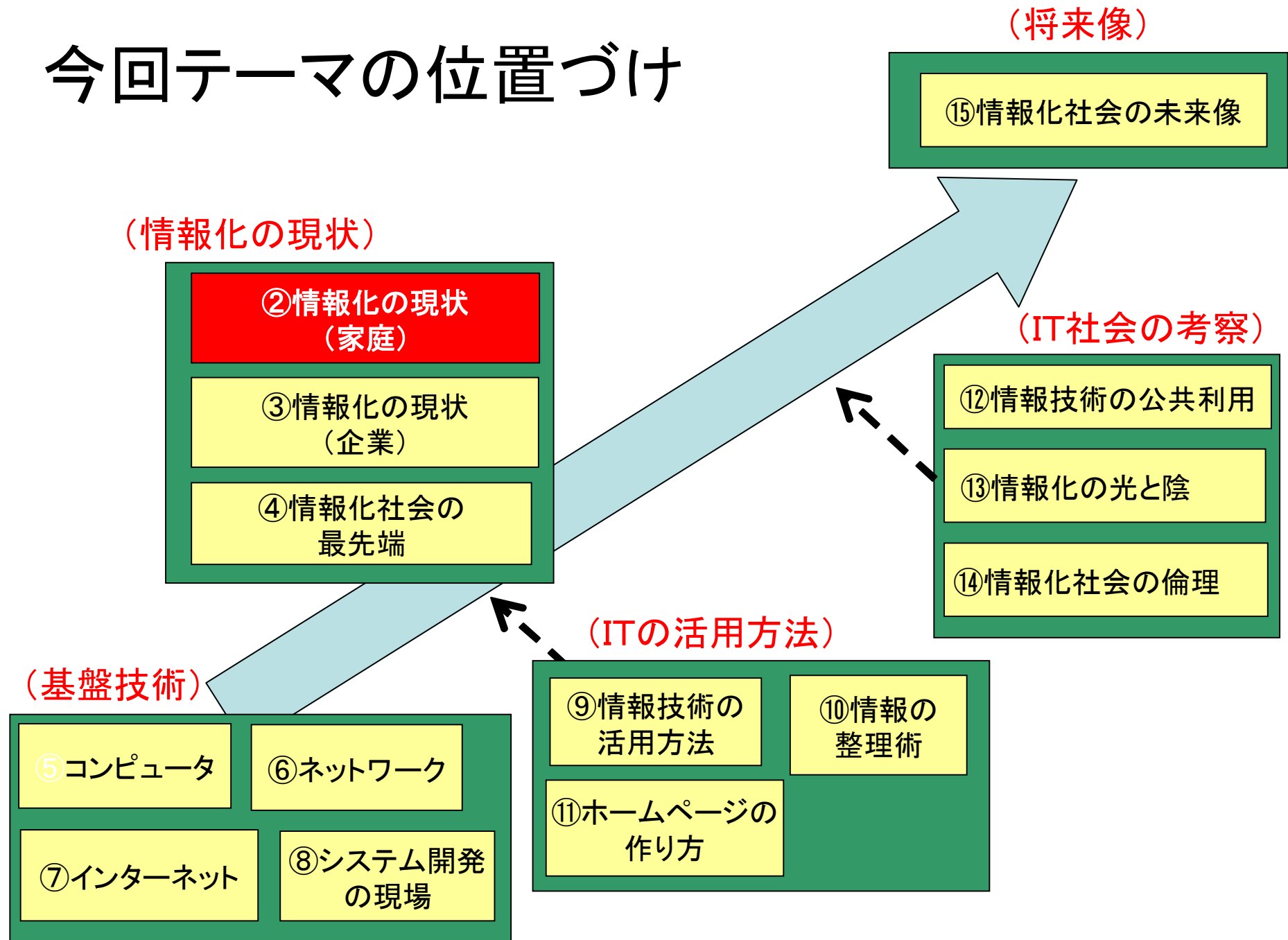
ベースのリテラシ

- ・自分の考えを持つ（本を読む＝語彙力＝考える）
- ・自分は、何がしたいかを考える力
- ・文章表現の能力（構想力、構成、文書化）
- ・うそを見抜く力
- ・他人の権利を侵害しない態度
- ・技術を評価して、何に使うべきかを考える力

好奇心

集中力

今回テーマの位置づけ



目次(情報化の現状(家庭・個人))

1. Aさんの一日
2. 変化の方向
3. (資料)普及率ほか
4. (参考)個人が使う情報技術
5. レポート課題
6. 参考書、参照Webサイト

1. Aさんの一日

1. 1 Aさんの紹介

1. 2 序章

1. 3 会社にて(午前)

1. 4 会社にて(午後)

1. 5 より道

1. 6 自宅にて

1. 1 Aさんの紹介

- 名前 小泉一郎
- 仕事 中堅メーカーの会社員
- 職務 営業職、商品企画担当
- 家族 既婚、子供2人
- 趣味で、株のオンライントレードを始めた
- 休日には、美術館めぐりが趣味
- 野球観戦、サッカー観戦が趣味

1. 2 序章

① 7:00 起床後

- **メール**のチェック(自宅のパソコン、携帯) 5分
 - 昨日の就業後の業務メール、海外含む
 - 今日のスケジュールに追加
- **インターネット**でニュース速報を見る 5分
 - 共同通信のニュース (<http://www.kyodo.co.jp/>)
 - 日経のニュース (<http://www.nikkei.co.jp/>)
- 新聞で、役に立つ記事を読む 15分
 - 担当の商品企画に生かせる記事を探す
 - 趣味の野球、サッカー記事を見る

1. 2 序章(続き)

② 通勤電車(45分)

- ・ **携帯メール**のチェック 5分

- ・友人からの携帯メールをチェック
- ・携帯で最新の天気予報を確認

- ・ **携帯パソコン**でスポーツ記事を見る 5分

- ・昨日の日本代表の評論を読む
- ・ スポーツナビ日本代表

[\(http://sportsnavi.yahoo.co.jp/soccer/japan/\)](http://sportsnavi.yahoo.co.jp/soccer/japan/)

- ・ 携帯パソコンで**デジタル書籍**を読む 30分

- ・昨日の続きを読む(夏目漱石、虞美人草)
- ・ 青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>)

1. 3 会社にて(午前1)

③9:00 雑用の片付け

- ・朝一番に、**メール**のチェック 15分
 - ・必要なものには返事を書く
 - ・ほかに回覧物がメールで届いている
- ・今日のスケジュールの確認 5分
 - ・**社内システム**を利用(ロータスソフト)
当システムは**会議の自動予約**ができる
- ・出張申請 10分
 - ・**社内システム**を利用(ワークフロー)
 - ・後で、チケットが社内郵便で送られてくる

1. 3 会社にて(午前2)

④新商品企画の提案書作成

- ・ドラフトの作成 90分
- ・NOTEパッドソフトで、メモ作成
 - ・会社のシステムから情報を取得
 - ・設計データベースから製品情報を入手
 - ・生産システム、販売システムから生産・販売実績を入手
 - ・必要な統計資料をインターネットで検索、保存
 - ・総務省・統計局 (<http://www.stat.go.jp/>)
 - ・電子情報技術産業協会 (<http://www.jeita.or.jp/japanese/index.htm>)
- ・提案書の推敲・完成 30分
 - ・ドラフトもとにコピー・貼り付けで体裁完成
 - ・PowerPointソフトを使用
- ・提案書をメールに添付して課長に送る
- ・課長の評価・コメントもとに一部修正
- ・完成した提案書を、部内DBサーバーに登録

1. 3 会社にて(午前3)

⑤会議資料の事前チェック

- 部内DBサーバーから午後の会議資料取り出し
- 会議資料を読み、疑問・提案をメモ
- 必要な疑問点を、資料作成者にメール

⑥12:00 昼休み

- 社員食堂での支払いは、
 - 身分証明書兼キャッシュカードで決済
 - 月末に、給料から自動的に天引きされる
- 時間があるので、携帯で、株価をチェック

1. 4 会社にて(午後1)

⑦ 13:00 会議に出席 60分

- ・説明者は、**ビューワー**(プロジェクタ)で説明
- ・必要な資料は、各システムを検索してデータを表示
- ・議事録は、会議中に担当者がその場で書き、
ビューワーで全員が見た上で、完成
- ・会議担当者は、議事録を部内DBサーバーに登録

⑧ 商品モニター宅を3軒訪問 180分

- ・**ノートパソコン**使って、商品の説明
 - ・商品説明用のソフトを起動した
 - ・商品説明、画像、CG、価格表がでてくる

1. 4 会社にて(午後2)

⑨街のNTTフレックススポットを利用 30分

- ・商品モニターの意見をパソコンに入力し、
会社のデータベースに登録
- ・業務日誌を作成
 - ・日誌を作成し、会社へ送信
 - ・メールをチェックし、返信
- ・一日の業務が終了、直帰することとした

1. 5 より道

⑩ 17:30 同僚とより道 60分

- ・注文を**入力タブレット**で聞かれた
本日のお奨め、品切れがわかる
- ・会計は、**カード**で決済

⑪ 通勤電車で帰宅 45分

- ・②と同様

1. 6 自宅にて(その1)

⑫20:00 自宅のパソコン利用 15分

- **メール**のチェック
 - **ニュース速報**を見る
 - メールに、先日の同期会の写真集の案内があったので、のぞいて見る。
 - **オンラインアルバム**
- ①と同様

<http://www.photohighway.co.jp/AlbumPage.asp?key=1926706&un=60658&id=32&m=2&s=0>

- 友人のブログを見る (団塊の広場)

http://dankai-hiroba.cocolog-nifty.com/blog/2007/04/post_b9e4.html

1. 6 自宅にて(その2)

⑬趣味の株の売買申し込み 15分

- ・日経のBBニュースを見る

<http://www.nikkei.co.jp/bbnews/>

- ・オンライン証券のWebサイトを開く

- ・マネックス証券 (<http://www.monex.co.jp/>)

- ・翌朝の売買を申込

⑭自分の写真集を編集 15分

- ・アルバムに写真を追加

<http://homepage3.nifty.com/suetsuguf/04album/hana/haru01.htm>

1. 6 自宅にて(その3)

⑮同好Webサイト**掲示板**に意見記入 10分

- ・サッカー日本代表応援ページ

<http://www.nippon12.com/nippon.html>

⑯自分の**ホームページ**を改善 5分

- ・良いWebサイトがあったので、
リンク集に追加して**FTPでアップロード**

<http://homepage3.nifty.com/suetsuguf/linkpgal.htm>

1. 6 自宅にて(その4)

①7 新しい商品企画のための読書 45分

- ・さらに調べたいことがあったので、

Webサイトで本の注文

- ・紀伊国屋Webストア (<http://www.kinokuniya.co.jp/>)
- ・アマゾン (<http://www.amazon.co.jp/>)

①8 調査のため検索エンジンを使用 15分

- ・google (<http://www.google.co.jp/>)
- ・googleツールバーのダウンロード方法

1. 6 自宅にて(その5)

①9情報技術の勉強

30分

- 無料のeラーニングで続きを勉強
 - [インターネット大学](http://www.soi.wide.ad.jp/contents.html) (入学制度あり)
(<http://www.soi.wide.ad.jp/contents.html>)
- 大学の講座をみせてもらう
 - [慶応大学・湘南藤沢キャンパス](http://www.sfc.keio.ac.jp/cns-guide/)
(<http://www.sfc.keio.ac.jp/cns-guide/>)
- メーリングリストを利用
 - GMOのFreeML
<http://sns.freeml.com/>
- ホームページ作成講座(無料)
 - <http://www.j-ns.com/freehomepage/index.html>

1. 6 自宅にて(その6)

②0 趣味のWebサーフィン 30分

- ・映画の予告編

goo映画 (<http://movie.goo.ne.jp/trailers/>)

- ・映画鑑賞

GYAO映画 (<http://www.gyao.jp/>)

- ・音楽のダウンロード(無料)

gooミュージック(<http://music.goo.ne.jp/>)

yahoo!ミュージック (<http://music.yahoo.co.jp/>)

- ・音楽のダウンロード(有料)

iTuneミュージックストア (<http://www.apple.com/jp/itunes/music/>)

- ・美術館めぐり

ルーブル美術館・日本語(<http://www.louvre.or.jp/>)

システィナ礼拝堂

(<http://www.christusrex.org/www1/sistine/0-Tour.html>)

- ・不要となったメモリーをオークションに出品

yahoo!オークション (<http://auctions.yahoo.co.jp/>)

1. 6 自宅にて(その7)

21 聞漏らしたニュース番組のチェック

- 日本のTV局ニュース <http://www.nhk.or.jp/>
- 海外のTV局
 - 英国BBC (<http://news.bbc.co.uk/>)
 - 米国NBC (<http://video.msn.com/video/p.htm?rf=http://www.msn.com/>)

22 海外のFM音楽を聴く

- 世界の音楽ラジオ局 http://ikaten.squidtv.net/japantv/029_radio_04.html
- 海外FMラジオ局 (<http://netradio.jingle.jp/>)
- マイラジオ (<http://www.windowsmedia.com/radiotuner/MyRadio.asp>)
- iTunesのラジオ (<http://www.apple.com/jp/itunes/download/>)

23 23:30 就寝

補足：ストリーム音楽のデジタル録音

- ・ストリーミングとは、

音楽や動画は容量が大きく、ファイル全体をダウンロードせず、
内容が連続的に流れる(stream)ように送られる。

- ・最近のパソコンの音声用回路は性能が良く、録音可能。

- ・例えば、テクノクラフト社・「超驚録」ソフトなどで、
デジタル録音が可能。

- ・一旦、WAV形式で録音し(3分10MB)

- ・効果メニュー→ボリューム調節で音量設定し

- ・MP3形式に圧縮してファイル保存

(128ビットレートで3分3MB程度)

- ・但し、ディスク容量が小さければ、アナログ録音で。

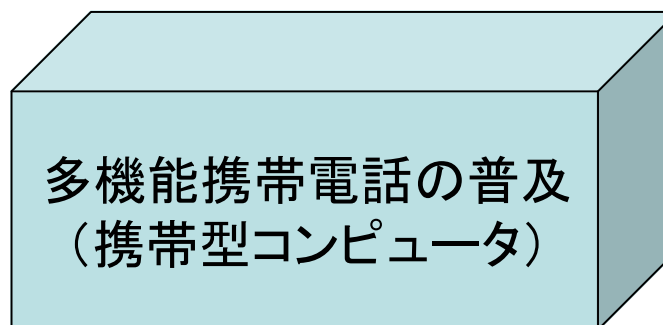
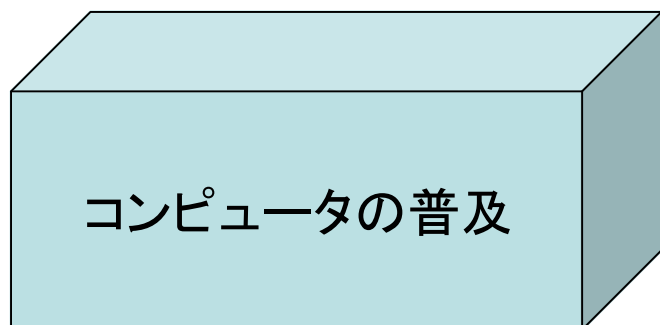
2. 変化の方向

- 2. 1 家庭、個人のIT普及
- 2. 2 何が変わったか
- 2. 3 このままでよいか
- 2. 4 モノの価値基準

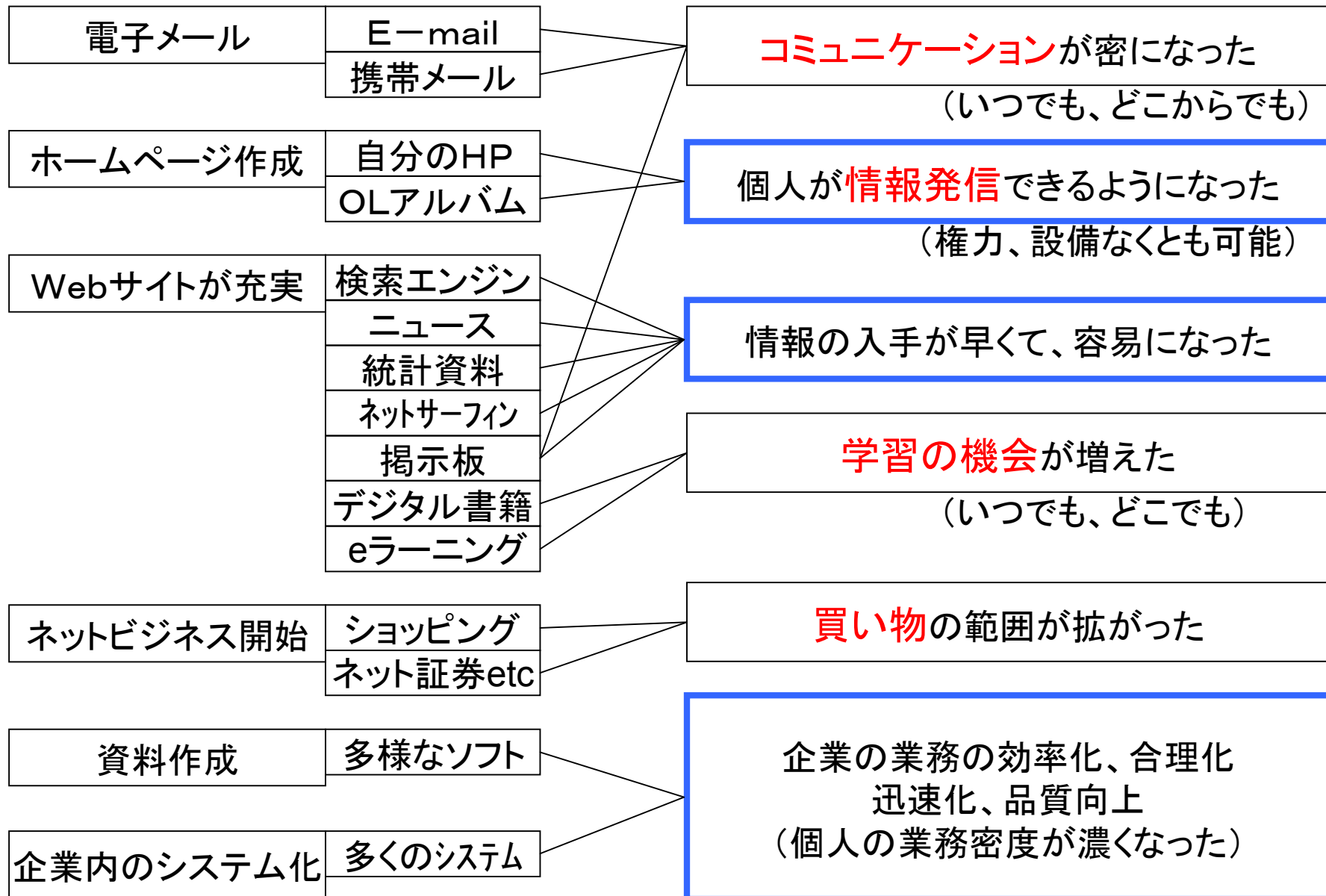
2. 1 家庭、個人のIT普及

急速な情報技術の変化と、家庭への浸透。

- ① パソコンの普及
- ② インターネットの利用急拡大
- ③ ブロードバンドの普及
- ④ 多機能携帯電話の普及
- ⑤ 企業でも大半の業務がシステム化済み



2. 2 何が変わったか



2. 3 このままで良いか

- ① 今までの利用範囲で良いのか？
- ② 能率が上がり便利になったが、それだけか？
- ③ 今の情報技術は、使い易いか？
- ④ 情報技術が使えない人々は、どうするのか
- ⑤ 本当に社会がよくなるのか？

2. 4 モノの価値基準

① モノの価値

- ・しくみ （どうやって、機構、構成、制御）
- ・はたらき（できること、機能）
- ・効用 （役立ち、効き目、効果）

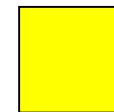
② 価値の大きさ

- ・便利になる
- ・安くなる
- ・早くなる
- ・社会に大きく貢献できる

3. (資料)普及率ほか

- ① 価格の大幅低下
- ② パソコンの普及率
- ③ インターネット利用(日本)
- ④ インターネット利用(世界)
- ⑤ インターネット普及率
- ⑥ インターネットの用途
- ⑦ ブロードバンド普及率
- ⑧ 携帯電話の普及
- ⑨ ネット個人消費

① 価格の大幅低下



パソコン価格

(指数)

1995年	100
1996年	42
1997年	31
1998年	19
1999年	13

8分の1

(総務省、統計局)

NTTの通信サービス料金

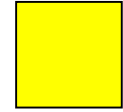
(月額)

1997年	6M、98万円	160,000円
2000年	10M、1.8万円	1,800円
2003年	100M、7300円	73円
2006年	1000M、4060円	4円

1 Mbit/s 当たり

4万分の1

② パソコンの普及率

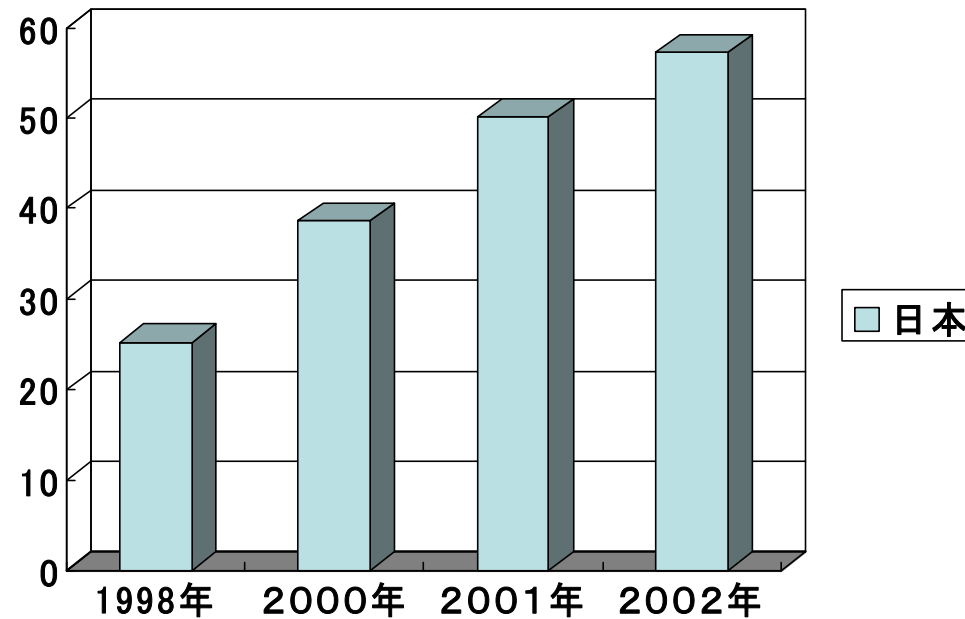


家庭のパソコン普及率は

日本 57.2% (前年比 7.1%増加)

米国 56.5%

増加傾向

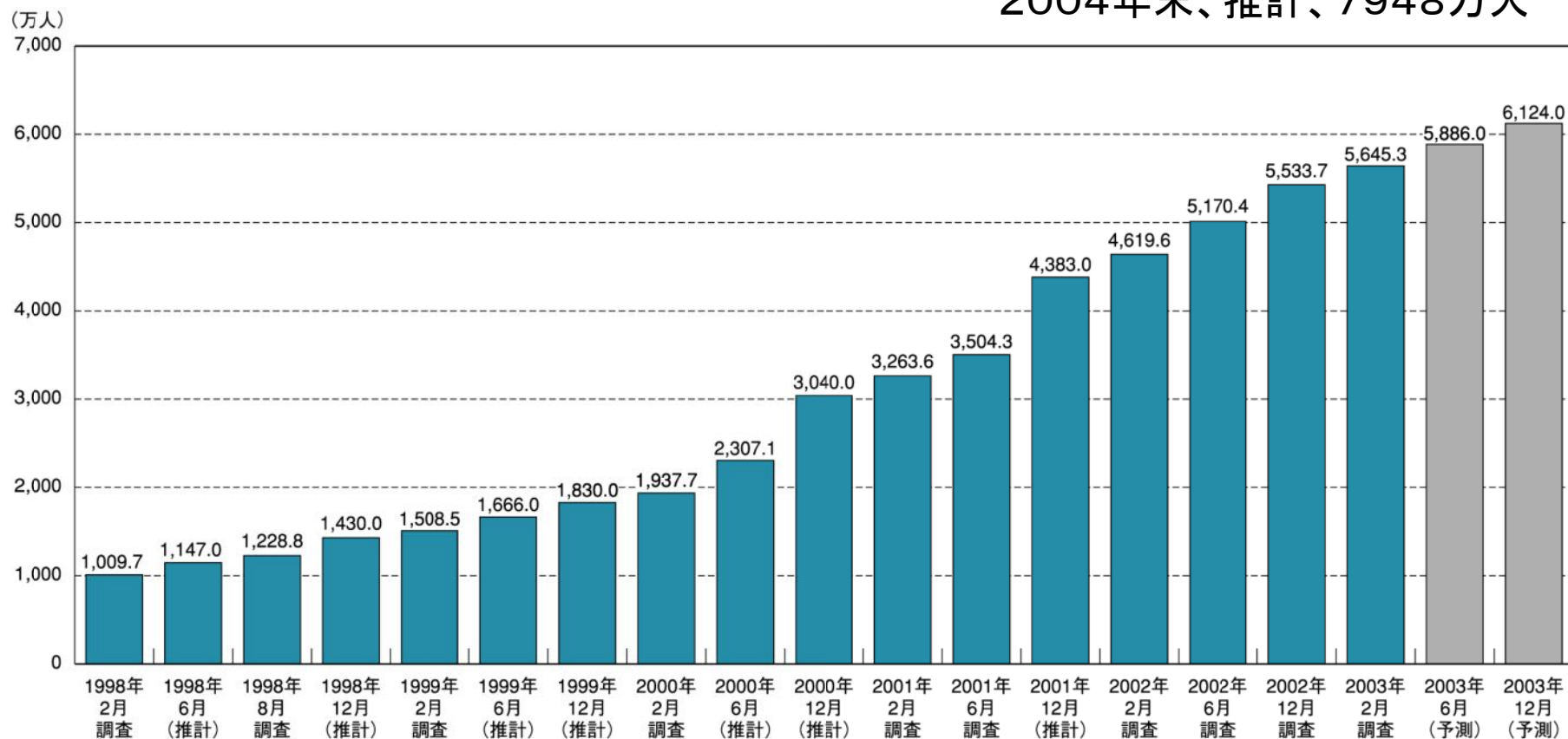


(出典: Mainichi INTERACTIVE 2002-04-24)

③ インターネット利用(日本)

資料 1-1-1 日本国内のインターネット利用者数推移 (1998年-2003年)

2004年末、推計、7948万人



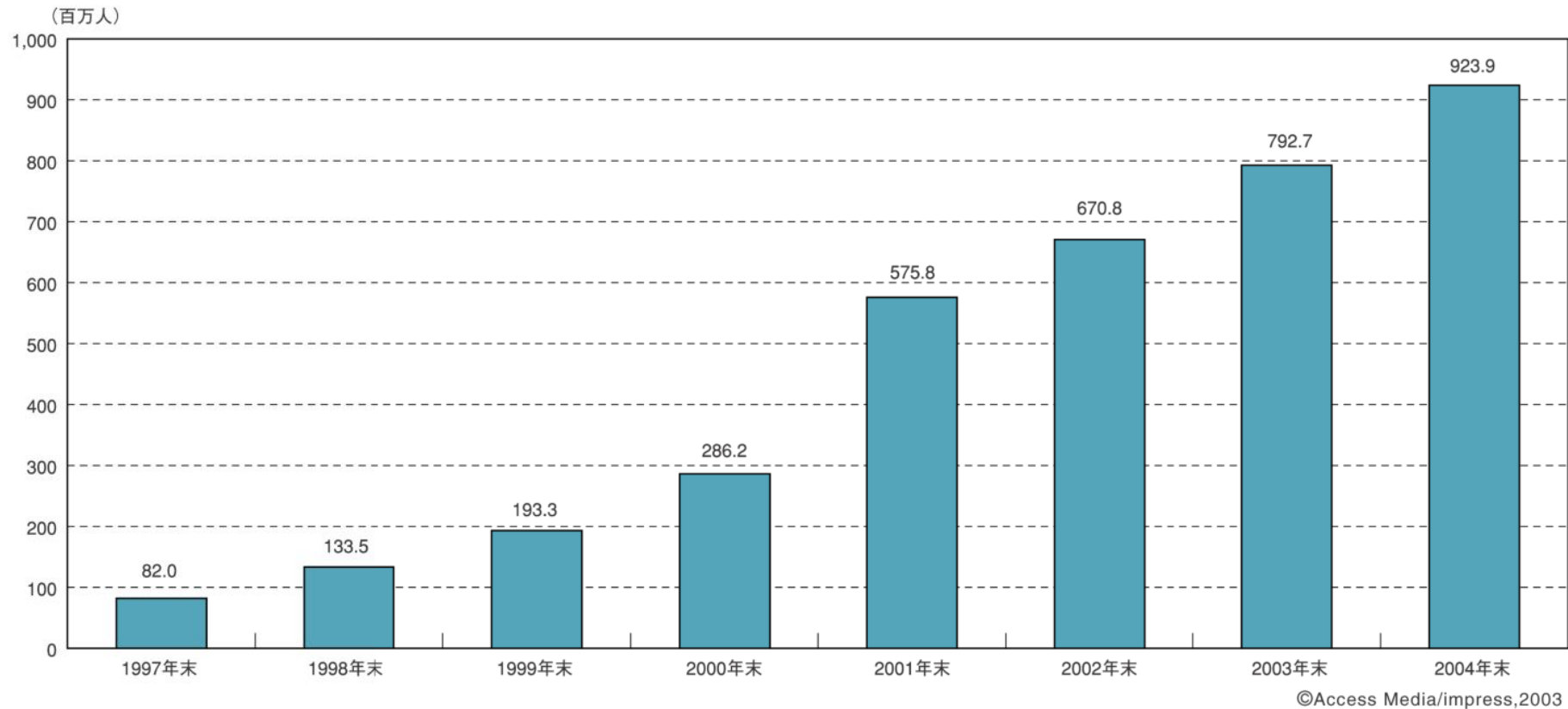
©Access Media/impress,2003

(出典: インターネット白書2003)

④ インターネット利用(世界)

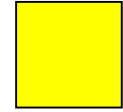
2003年末で、8億人

資料4-1-1 世界全体のインターネット利用者数推移予測 (1997年-2004年)

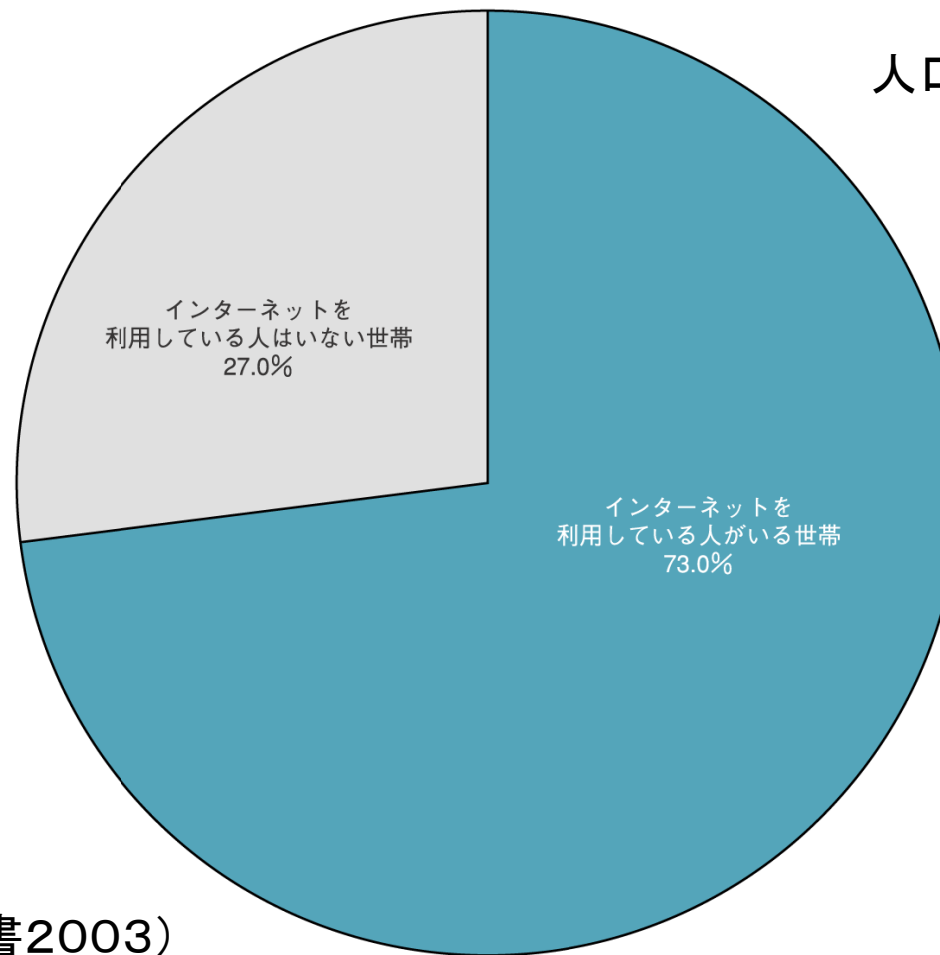


出典 インプレス「インターネット白書2003」

⑤ インターネット普及率



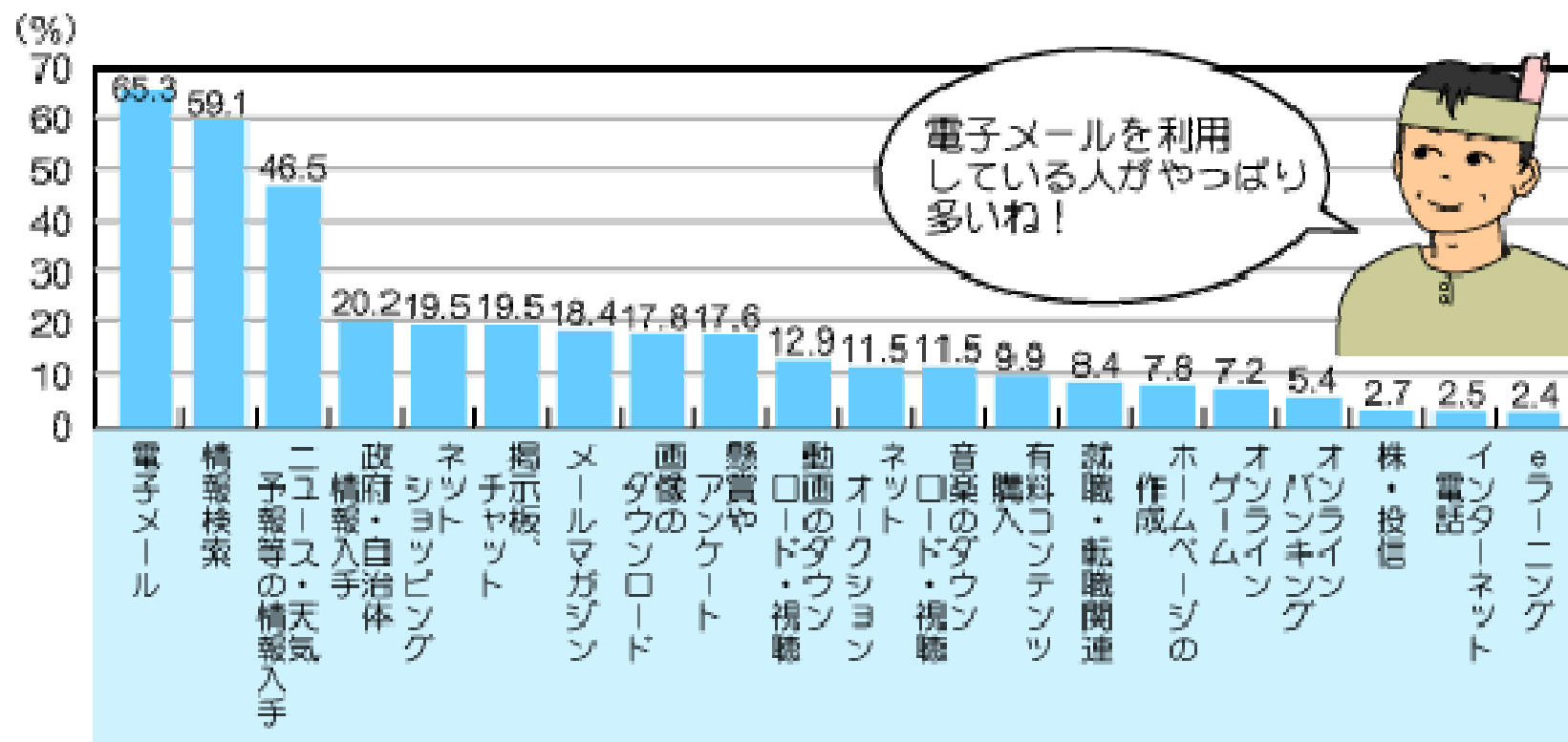
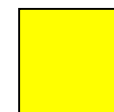
資料1-1-4 インターネット世帯浸透率（2003年） N=41,530



人口普及率: 60.6%

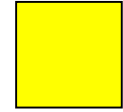
（出典：インターネット白書2003）

⑥ インターネットの用途

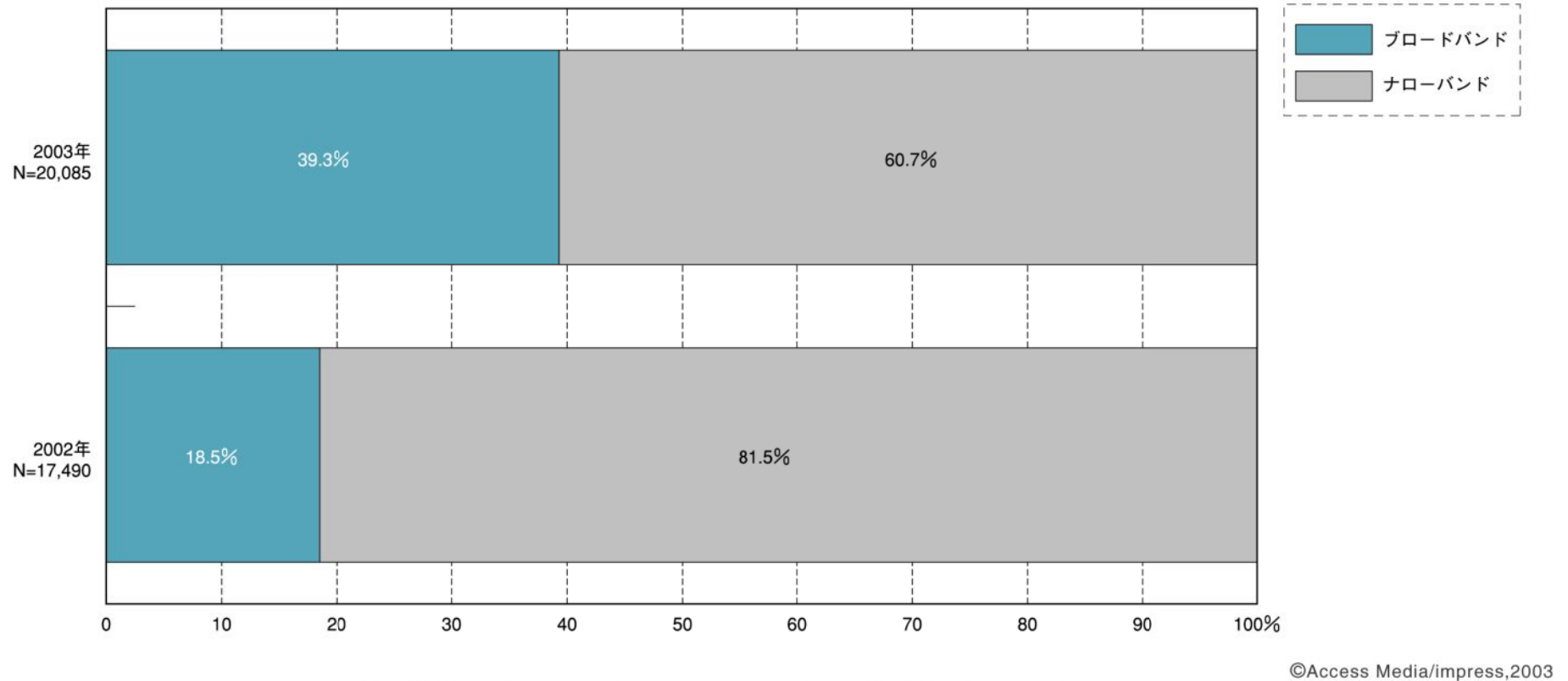


(出典:総務省、情報通信白書forKids)

⑦ ブロードバンド普及率

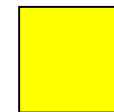


資料 1-1-8 インターネット利用世帯のブロードバンド・ナローバンド構成比（2002年-2003年比較）



（出典：インターネット白書2003）

⑧ 携帯電話の普及



携帯電話の契約数は5・4%増の9531万5200件、PHSは6・3%増の490万9300件

携帯電話の契約数 79, 787, 200件 (前年同月比8. 5%増)

普及率 62. 5% (vs中国 4億人)

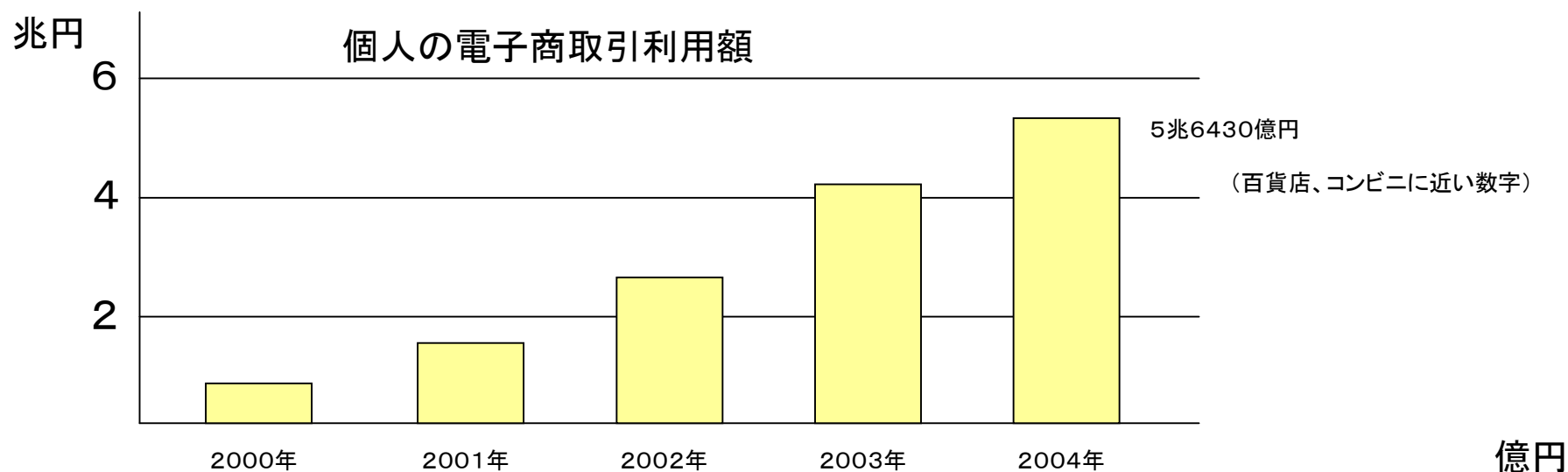
IP接続 67, 805, 800件

PHSの契約数 5, 224, 300件 (前年同月比6. 2%減)

普及率 4. 1%

(出典: 電気通信事業者協会(TCA) 2004年1月9日)

⑨ ネット個人消費、急拡大



企業間の
電子商取引は
100兆円
・自動車が33%

2004年の内訳

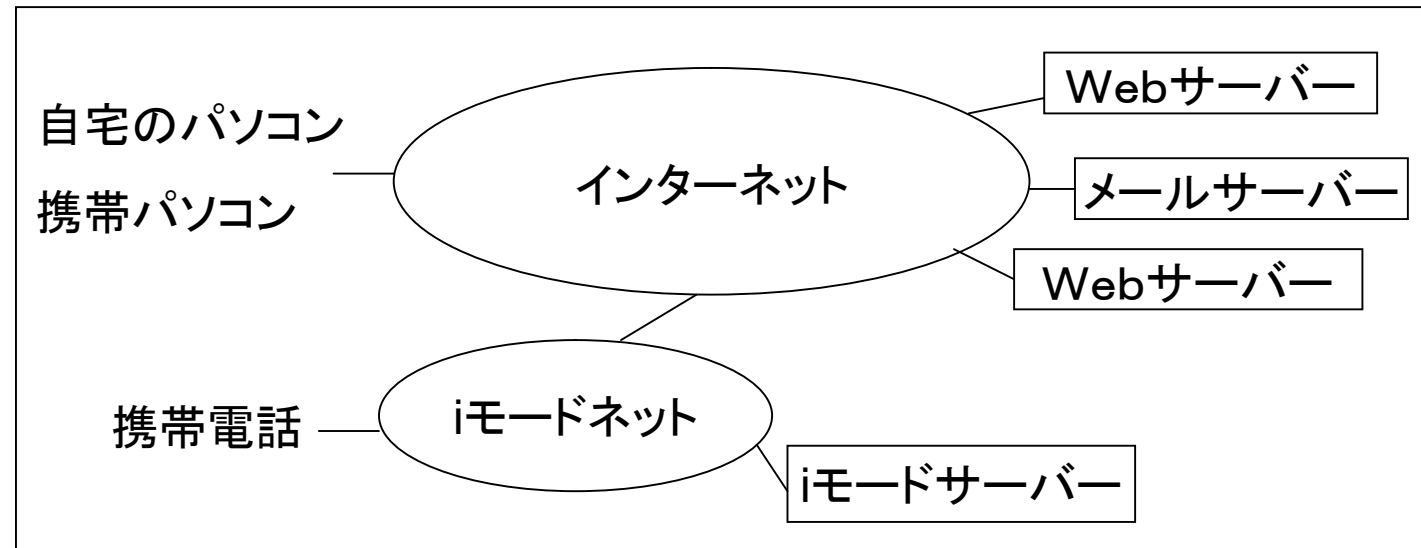
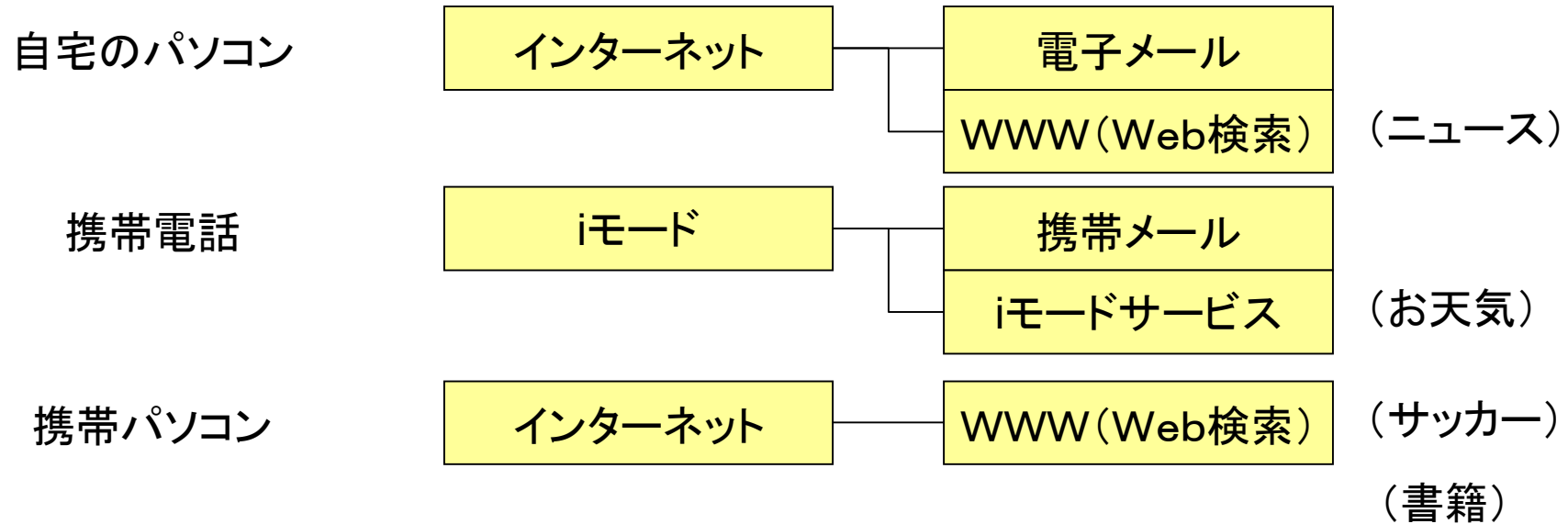
1	不動産	10,490
2	レストラン予約など	9,010
3	旅行	6,610
4	エンター・テインメント	4,210
5	趣味・雑貨・家具ほか	3,420
6	金融	3,210
7	食品・飲料	2,990

(出典: 日経新聞、2005年6月29日付け)

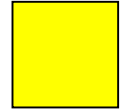
4. (参考) 個人が使う情報技術

- 4. 1 序章、通勤時のシステム
- 4. 2 会社の情報システム
- 4. 3 会社のモバイルシステム
- 4. 4 お店の情報システム
- 4. 5 自宅のシステム

4. 1 序章、通勤時のシステム



4. 2 会社の情報システム



会社のパソコン

インターネット

電子メール

WWW(Web検索)

(統計データ)

設計システム

スケジュールシステム

(会議予約)

生産システム

ワークフローシステム

(出張申請)

販売システム

NOTEパッドソフト

(提案書ドラフト)

プレゼンテーションソフト

(提案書完成)

文書管理システム

(提案書登録、議事録登録)

カードシステム

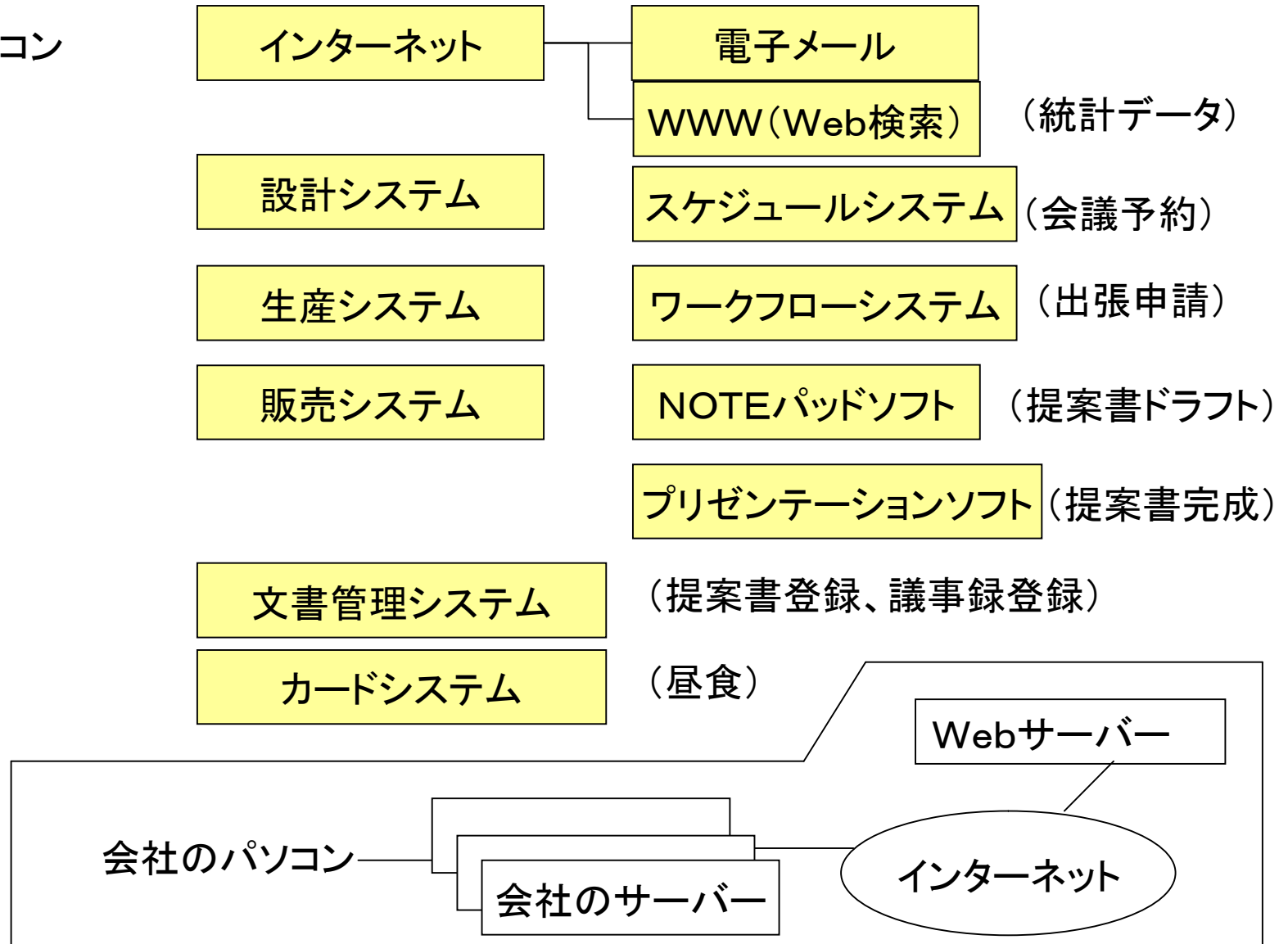
(昼食)

Webサーバー

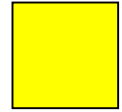
会社のパソコン

会社のサーバー

インターネット



4. 3 会社のモバイルシステム



会社のノートパソコン

商品説明システム

(商品情報)

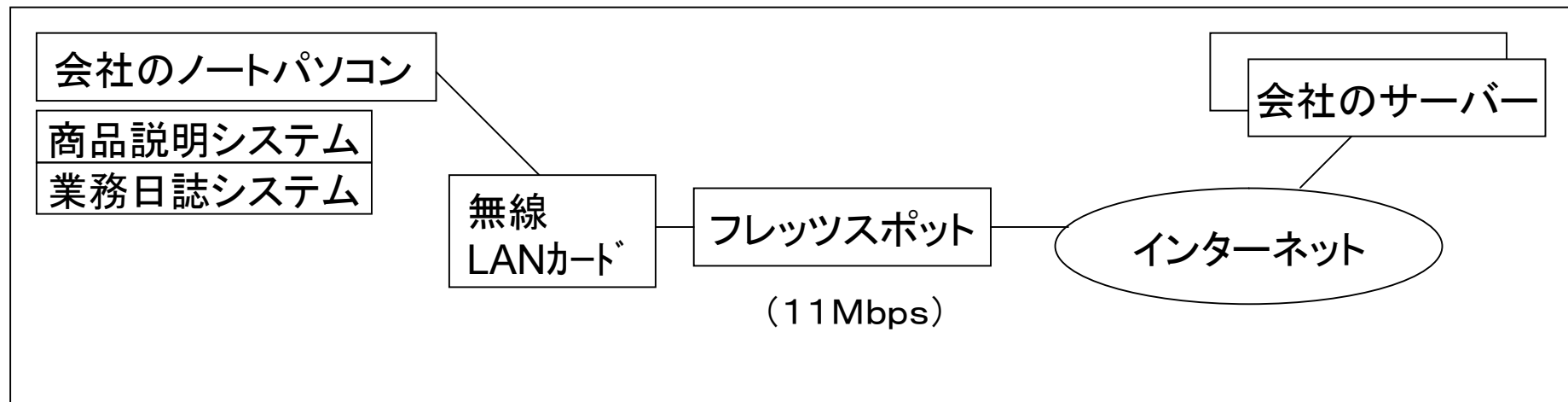
(モニタの意見入力、送信、登録)

業務日誌システム

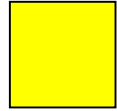
(日誌の記入、送信、登録)

インターネット

電子メール



4. 4 お店の情報システム

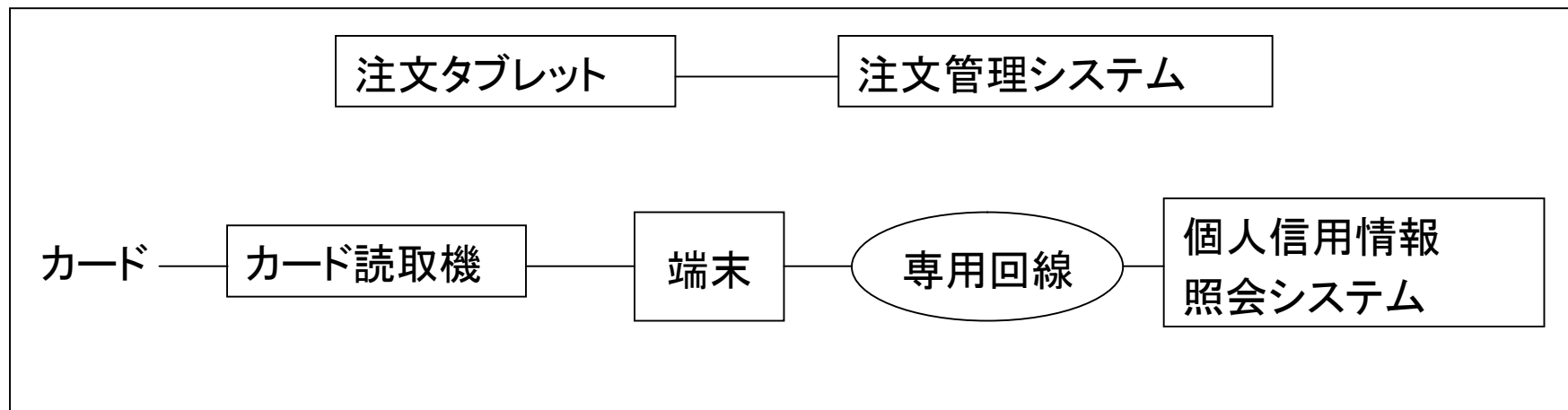


お店のタブレット

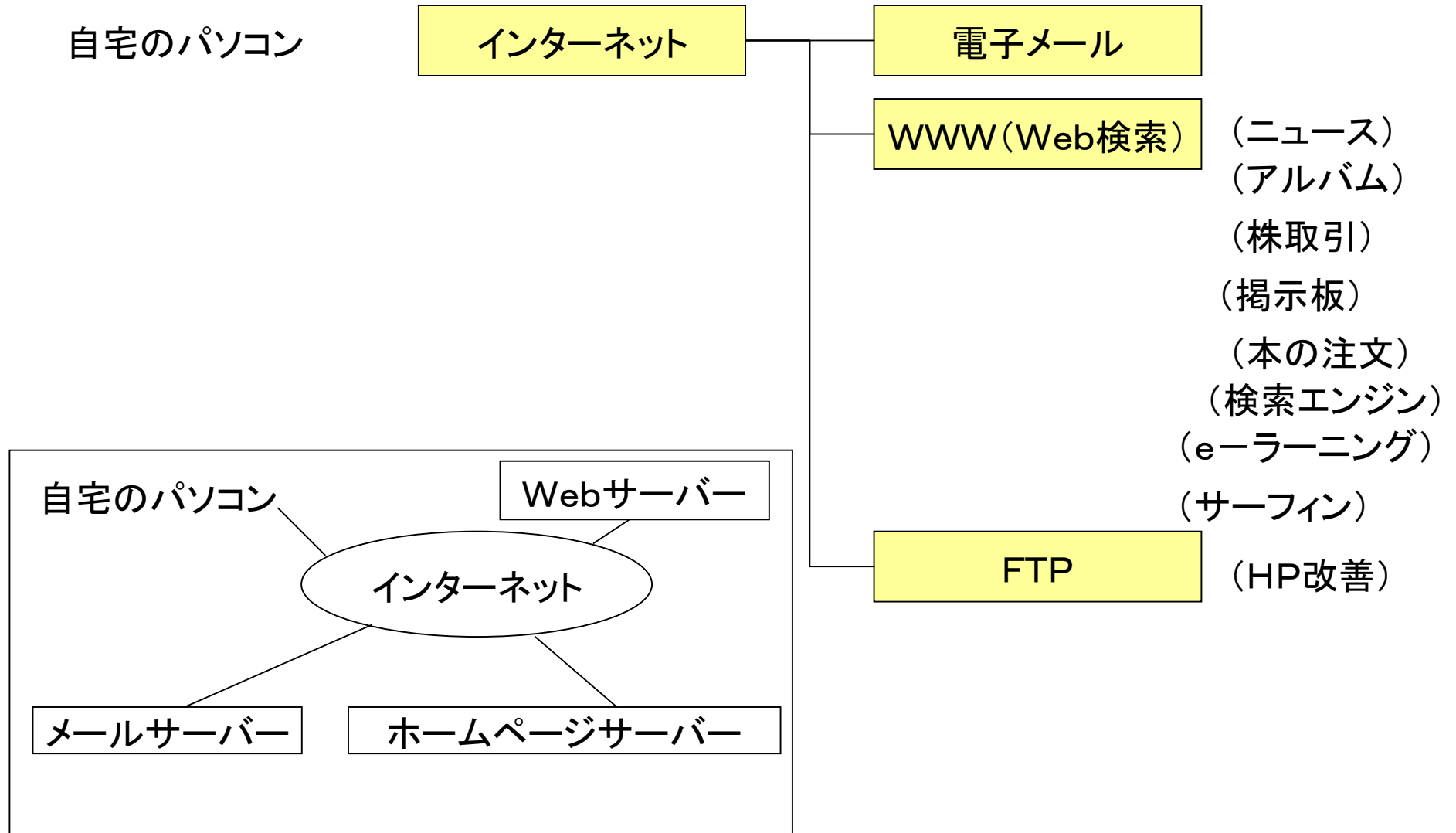
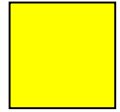
注文管理システム

カードで決済

個人信用情報照会システム



4. 5 自宅のシステム



5. レポート課題

- 以下について、レポートで提出
- 内容
 - ①今日の講義で、特に興味を持った点
 - およびその理由
 - 複数可
 - ②パソコンの使い方で、
 - 既に知っていた使い方
 - 知らなかった使い方
 - 今後、つかってみたいもの
- 形式 A4、1枚以内（学科、学生番号、氏名明記）
- 提出方法 メール（添付も可）、またはペーパー
TO: fwhy6454@mb.infoweb.ne.jp
- 提出期限 次回の授業開始までに。

6. 参考書、参照Webサイト

- 教科書 情報と社会 小暮 仁 日科技連出版社
- 子供のためのIT教科書 コンピュータと友だちになる本
鈴木二正 小学館
- インターネット白書2003 (財)インターネット協会
インプレス社
- パソコン用語事典 岡本茂ほか 技術評論社
- アスキーIT用語字典 <http://yougo.ascii24.com/gh/>
- [共同通信のニュース](http://www.kyodo.co.jp/) (<http://www.kyodo.co.jp/>)
- [青空文庫](http://www.aozora.gr.jp/) (<http://www.aozora.gr.jp/>)
- [総務省・統計局](http://www.stat.go.jp/) (<http://www.stat.go.jp/>)
- [情報通信白書for kids](http://www.kids.soumu.go.jp/) <http://www.kids.soumu.go.jp/>
- [google](http://www.google.co.jp/)検索エンジン (<http://www.google.co.jp/>)